

静岡県教育委員会
教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和6年(2024年)
1月9日
火曜日
第267号今回は富士宮東高校美術部の皆さんに
黑板アートを制作してもらいました!

黑板アートは、黑板とチョークを画材として描くアート作品です。

富士宮東高校は、黑板・ホワイトボードメーカーが主催する「日学・黑板アート甲子園」において、毎年さまざまな賞を受賞している常連校。今年度の大会においても、「黑板の部 メイン大会」で見事優秀賞を受賞しています。

今回は、池上教育長のメッセージからイメージを膨らませ、黑板アートとして表現していただきました。

作品がどのように出来上がったのか、制作過程や制作した生徒へのインタビューを県教育委員会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



作品の制作過程や制作者へのインタビューはこちらをご覧ください!



今年度に入り、学校行事や部活動もコロナ禍以前に近い状態まで戻ってきました。学校は学びの場であると同時に人格形成の場でもあることを、改めて強く感じている人も多いのではないのでしょうか。

静岡県では皆さんが「有徳の人」として育つことを願っています。その「有徳の人」を形作る柱のひとつに、多様性を尊重し自他を大切にする点があります。学校行事や部活動では、自分と異なる価値観や考え方に触れることがあり、苦しい思いをする場面も

あるかもしれません。けれどもそんな時、ただ接触を避けてしまうのではなく、ぜひ人の声に耳を傾けて、それぞれの考え方の根幹に思いを馳せてみましょう。

多様性はやっかいで面倒に思うこともありますが、同じ考え方の人ばかりでは意識できない思わぬ気づきをもたらしてくれます。勇気をもって、自分とは違う価値観や考え方に自らを開いてみましょう。新たな自分に出会えるかもしれません。

静岡県教育委員会 教育長 池上 重弘

【教育政策課】

実践NOTE 531

個別最適な学びを進めるミニ自由進度学習

菊川市立加茂小学校 教諭 増田 有正

自由進度学習の第一歩「学びの手引き」

近年、個別最適な学びの面から自由進度学習が注目されています。今回はその入門編として、小学2年生の九九算を例にミニ自由進度学習の実践を紹介します。まず、単元の指導計画「学びの手引き」を子どもに配り、単元のゴール（本単元ではオリジナル九九ブック作り）を子どもと共有します。子どもが学習の見通しをもてるようにするためです。手引きには自己評価欄があり、子どもは毎回自分の理解の具合を評価します。これらの手立てが学びを自己調整する力の発揮を促します。

学びの手引きの例

学習スタイルに合わせて学ぶ場を選ぶ

授業では、最初にその回の課題について内容を確認します。次に子どもが、①先生と一緒に丁寧に理解をしていきたいか、②仲間と対話をしながら解決していきたいかを選びます。①の子は、教室前方の席に集まり、少人数指導の形で学んでいきます。②の子は、わからないところは、仲間と話し合い、自分で答え合わせをしながら学んでいきます。②の子のために、教室にヒントコーナーを設けておきます。これ



その日の課題を聞いて学ぶ場を選ぶ様子

らの手立てが指導の個別化につながります。

興味・関心に合わせて学習活動を選ぶ

課題を解決した子は、「自分学び」の中から自分の興味・関心に合わせて学習活動を選んで取り組みます。本単元では、九九ビンゴや九九アプリなど、発展的な学習を6つ用意しました。これらは一部難しい内容を含むため、同じ課題を選んだ子同士で対話をしながら解決していました。取り組んだ課題は九九ブックに綴じて自分だけの成果物になるようにしました。これらの手立てが学習の個性化につながります。



自分学びが提示されている画面を見て何に取り組むか考えている様子

ミニ自由進度学習の効果

学習後「自分に必要な学びを考えながら学ぶことができましたか」の質問に対し、約9割の子が肯定的回答をしました（うち、強肯定6割）。振り返りでは、「自分で考える力が付いた」「いつもより話し合った」「自分学びが楽しかった」などの記述が目立ちました。加えて、3枚のテストの知識・技能の平均点は90点を超えました。これらことから、学びを自己調整する力が伸び、学習内容への理解も深まるこの学習法は、個別最適な学びの充実に向けて有効であるといえるでしょう。



電子ドリル、対話、答え合わせ等、自分のスタイルやペースに合わせて学んでいる様子

実践NOTE 532

『主体的な生活を創造する子』を育てるために

静岡大学教育学部附属幼稚園 教諭 瀬戸尾 和紀

はじめに

本園では、幼児が自ら環境に関わることで主体性が育つと考え、さまざまな豊かな体験ができる環境構成や援助を意識して保育を行っています。

試して、考えて、工夫することを大切にする

園内にはどんぐりやくるみなどのさまざまな実が成ります。秋の実を転がす遊びが始まったため、木片を用意しておきました。すると、それを使ってコースを作り、何度も試しながら工夫していました。繰り返し遊ぶ中で、「こっちの方が軽いから速い!」とクヌギや他の実でも試し、転がる速さが実の形や重さに関係があることに気が始めました。友達と競い合うことで、「どうすれば勝てるのか」を考え、試行錯誤する意欲も高まってきました。



秋の実コースづくり

子どもたちは興味や関心があることに自分から関わることで、さまざまな発見や驚きがあり、「もっと知りたい」「やってみたい」という意欲に繋がっていました。



「セーのっ!」

ICT 機器も環境に取り入れて

各クラスにタブレットとモニターが導入され、子どもたちがタブレットを自由に使えるように保育室に置きました。虫の模様に興味をもった子は撮影して観察したり、映画ごっこをしている子たちは録画して自分たちの動きを見返し、よりよい動き方を考えたりするようになりました。



「どうやって撮ると綺麗なかな?」

11月には、金沢大学附属幼稚園の友達とオンライン交流を行いました。モニターに相手の子どもたちの顔が映ったときには、喜びや驚きでいっぱいでした。遠い地域の友達との共通点や違いに興味や関心が高まり交流が広がっていました。

ICT 機器が環境として身近にあることで、より楽しく探求心が育まれ、いろいろな人との関わりを生むなど体験の幅が広がりました。

おわりに

豊かな環境を活かし多様な経験をすることで、幼児の興味や関心が深まり、主体的に遊びや生活を創っていく力が育つことに繋がっていきます。子どもの興味・関心を捉え、その環境を価値づけ意識していくことを今後も行っていきたいと思っています。



オンライン交流を行う筆者と年長児

学校広報
プロジェクト

日常生活に「ヨーガ」を取り入れてみませんか？

皆さんは「ヨーガ(Yoga)」を知っていますか？よく耳にする「ヨガ」は日本風の呼び方で、国際的には「ヨーガ」と呼ばれています。伝統的なヨーガを基にしてできた「ヨーガ療法」は、身体的な機能だけでなく精神的な健康を向上させ、誰にでも行える健康法として注目されています。今回、袋井高校にてヨーガ療法士の加藤 則子さんによる特別講話が開催されるとのことで、取材に行ってきました！

【加藤先生による講話】

ヨーガには「瞑想：心」、「呼吸法：息」、「アーサナ（ポーズ）：体」の3つの要素があり、身体や心の緊張を緩め、今この瞬間、この場に存在する身体と心を見つめることで自分を客観視できる（マインドフルネス）など、その効果について説明を受けました。



【ヨーガ療法の体験】

袋井高校の生徒、教職員、PTA役員と一緒に、県教育委員会事務局職員もヨーガ療法を体験しました。「無理しない」「人と比べない」「呼吸を意識しよう」「体の変化を感じよう」とアドバイスをいただき、呼吸法や筋肉を効果的に緩める方法を学びました。



参加者の声

普段は無意識に行っている呼吸が、少し意識するだけで緊張を和らげたり、気持ちを落ち着かせることができるものだということを知ることができたので、今後実践していきたい。

内なる己と向き合い、周囲の状況や過去の出来事とのつながりを断つための手段として目を閉じるという考えが面白いと思った。目を閉じることで、周りのことを気にせず自分だけの時間を体験できた。

ヨーガが心身を整えるというイメージはあったが、特別講話を通して体よりも心の要素が大きいのを感じた。せわしなく過ぎる日々の中でも、自分を見つめ、体の緊張をほぐす時間を作りたいと思った。

*マインドフルネスについて紹介する研修動画を配信しています ▶ [研修管理システム](#)

講師の加藤 則子先生にインタビューしました！

Q ヨーガにはどのような効果がありますか？

A 緊張する場面では、呼吸を意識するとリラックスを得ることができ、プロスポーツ選手もメンタルトレーニングに取り入れています。また、今の自分を客観視することで、困難を乗り越えるタフさや力強さが身につきます。

Q 健康に過ごすために大切なことを教えてください。

A ヨーガはすぐに効果が現れるものではありませんので、継続して取り組んでほしいです。じっくり時間をかける印象があるかもしれませんが、休み時間など短時間で行うことができるものもあります。ぜひスキマ時間にチャレンジしてみてください。

Q 教職員に向けてメッセージをお願いします！

A 私は元々小学校の教員として、10年ほど学校現場で働いていました。教員の皆さんは多忙な生活の中で心身をすり減らしていると思いますので、ヨーガを通じてまずは自分自身をいたわってほしいです。また、デスクワークに関しては60分座り続けると21分寿命が縮むという説もあります。ぜひ日常生活にヨーガを取り入れて、心身ともに健康に過ごしてください。

講師
プロフィール

加藤 則子 氏

(社)日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士
NPO法人日本ヨーガ療法士協会・静岡

10年ほど前から、県内中西部を中心に、小学校～高等学校でヨーガ療法に関する講演をされています。

基本の呼吸法

- 両鼻でしっかり呼吸する
- 数を頭の中でカウントし、吐いた時の半分の数で息を吸う

【教育政策課】

気軽に
チャレンジできる
ヨーガを紹介！

● 身体の緊張がほぐれ、身体が温まるような感覚を得られます！

椅子に浅く腰掛け、目を閉じ胸の前で手を合わせて軽く押し合いながら「ソー」と息を吐く。息を吐き切ったらそのままの体勢で息を吸い力を抜いて手を離し、「ソー」と息を吐きながらゆっくり手を下ろす。目を閉じたままお腹に手を当てて5回呼吸を数えて、これを2回繰り返す。

● 腰痛にも効果があり、姿勢が良くなります！

立った状態で腕を前後にぶらぶらさせる。その時に足の付け根や膝は力を抜く。次に肘を曲げて引きながら前後にぶらぶらさせる。(肩甲骨や胸が開く感覚があります)

【英語】授業改善のポイント
～令和5年度「全国学力・学習状況調査」より～

4年ぶり2回目の実施となった今回の調査では、全国・静岡県ともに「話すこと[やり取り]」において、知識として理解している言語材料の特徴を活用しながら即興で伝え合うことに課題が見られました。

課題が見られた問題

① (3) 動物園でのやり取りの中で、カンガルーが食べるものについて留学生に質問する問題



Look! Kangaroos!
They are really famous in my country, Australia.
I know a lot about them.
Do you have any questions about kangaroos?
Please ask me.



授業改善のポイント

子どもが自分の本当の考えや気持ちを伝え合うためには、語や文法事項等の正確な使用が必要であり、そのためには、指導の重点を内容の伝達に置きながらも、活動中の言語使用について具体的にフィードバックする。



● 指導例 ～言語活動を通して資質・能力を育成する～

言語活動 (1回目)

子どもの言葉や姿から見取り、次の言語活動につながる支援・指導をする。

中間指導 (評価)

① 内容面からの指導

図 子どもが「何を伝えとよりよくなるか」を考える時間を設定する。

② 言語面からの指導

図 語順の誤りを修正する。
・単語だけによる発話を文にする。
・日本語での発話を英語にする。
・修正した表現を子ども自身が練習できる時間を設定する。

言語活動 (2回目)



子どもが伝えたい内容を言語面と結びつけながら、学んだ語や文などを正確に表現することができるよう、中間指導(評価)後にも、くり返し言語活動を設定することが大切です。

【総合教育センター】

「食育」についての事業
「だし」と和食についての学習

県教育振興基本計画では、健やかで調和のとれた心身の土台づくりに必要な「食」に関する指導の充実や普及啓発を図ることとしています。今年、「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録されて10年であり、和食への理解を深めるさまざまな取り組みを実施しています。

● 県内小中学校における取組

～三島市立北小学校での出前講座＆和食給食～

11月20日(月)三島市立北小学校で、料理研究家の後藤加寿子先生をお招きし、出前授業を実施しました。児童は、マナーを含め和食文化について学習したほか、味を構成する五味(うまみ・



だしのうまみを味わう児童



和食器で提供された給食

塩味・酸味・苦み・甘み)を体感し、和食の基本であるだしのうまみについて理解を深めました。授業の後には、和食給食を和食器を使って味わいました。

● 歌と動画で
和食文化を学ぼう♪

児童生徒が和食文化に親しみを持ち、理解を深めるための学習用動画を作成しました！料理研究家の後藤加寿子氏、県教育委員の小野澤宏時氏とふじっぴーが出演し、楽しい音楽にのせて和食のマナーやお箸の使い方、だしについて学習できます。是非ご活用ください！



▼マナー編

▼だし編



【教育政策課・健康体育課】

組合員を対象とした
メンタルヘルス相談窓口

○教育厚生課……………TEL 054(221)3131

○静岡県教職員互助組合相談センター……………月・水・金曜日(午後1時から5時まで) ☎ 0120(034)054

○公立学校共済組合……………詳しくは右記QRコードをご確認ください ▶▶▶



令和6年度

「WAZA(ワザ)チャレンジ教室」及び「デジチャレンジ教室」実施校募集!

プロに学べ!ものづくりやプログラミング体験にチャレンジしよう!

技能士が小・中学校、特別支援学校に出向いてものづくり及びプログラミング体験教室を実施します。

アートモザイクや小座布団など10種類以上の製作物を取り揃えています。また、今年度から新たに「デジチャレンジ教室」を開催しハンダ付けによる電子工作や「プログラミングカーリング」の体験教室を設けました。



玉子焼き・鶏のくわ焼き
(日本調理技能士会)



プログラミングカーリング
(デジチャレンジ教室にて)

令和5年度も52校2,383人の児童・生徒に対し、総合的な学習(探究)の時間や学校行事としてご利用いただきました。児童・生徒からは「世界に1つしかない自分の作品を見て、とてもうれしかった」「難しかったけど、やり始めたら夢中になってしまった」といった声が寄せられています。先生方からも「作るこの大変さと達成感をあじわうことができた」「一人ひとりに親切・丁寧に教えていただけた」といった感想をいただいています。ぜひお申し込みください!

募集期間	令和6年1月~令和6年2月下旬 ※各学校に募集案内を送付します	実施期間	令和6年5月下旬~ 令和7年2月下旬
対象	小・中学生(小5以上)、特別支援学校生	会場	校内各教室等
定員	20人~40人程度/1製作物 ※同日に複数の製作物をお申し込みできます	費用	300円~1,500円/1人 (材料費実費)
問合せ先	経済産業部職業能力開発課 富永 電話: 054-221-2823 FAX: 054-271-1979 Mail: syokunow@pref.shizuoka.lg.jp	ウェブサイト	 WAZA チャレンジ教室  プログラミング カーリング

【職業能力開発課】

静岡県教育委員会表彰を実施

静岡県教育委員会では、教育の振興に貢献した方や、スポーツや芸術、学術などの分野で顕著な成績を挙げた個人・団体の功績を称えるため、「静岡県教育委員会表彰」を実施しています。今年度は、32の個人と19の団体が受賞し、過去最多の51組を表彰しました。

11月15日に県庁で開催された表彰式で受賞者を代表して挨拶した海野さんは、高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会での経験から、周囲との調和を意識しながら意見を主張することの重要性を語られました。

なお、学校をはじめとする関係者の皆さんには、候補者の推薦等にご協力いただきありがとうございました。



全国中学校体育大会の軟式野球で、静岡県勢として13年ぶりに優勝した東海大翔洋中等部



文化分野でも活躍。写真は第17回全国高校生大作書道展で文部科学大臣賞を受賞した木村さん

今年度表彰された方をホームページで紹介しています。
ぜひご覧ください! HPはこちら▶▶▶



<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/school/kyoiku/1041159/1031310.html>

【教育総務課】

黒はんぺんを作ろう 作ってなっとく、食べてまんぞく

焼津の名産品である黒はんぺんを作ったり味わったりして、焼津の文化に触れよう!

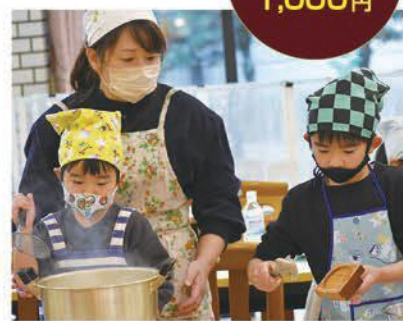
費用
1,000円

日時
第1回 1月27日(土)
9:15~12:00

第2回 2月4日(日)
9:15~12:00

場所
焼津青少年の家

対象
家族・グループ 3歳以上
16組 各グループ最大6人
(小学生以下は保護者同伴)



▼問合せ・申込先
焼津青少年の家
TEL:054-624-4675



【焼津青少年の家】

令和6年度「グランシップ子どもアート体験!学校プログラム」

広告

申込受付中!

グランシップでは、国内外の第一線で活躍する芸術家とともに県内の小中学校や特別支援学校に出向き、子どもたちに本物の文化芸術をお届けするアウトリーチ事業を実施しています。現在、令和6年度の実施希望校を募集しています。音楽や伝統芸能、美術など多彩なプログラムをご用意。詳しい募集要項や応募用紙は、全小中学校、特別支援学校に郵送しています。また、グランシップホームページ(右記2次元コード参照)からもご覧いただけます。不明な点は、メール・電話にてお問合せください。

まもなく締切、是非ご検討ください!

応募締切:2024年1月31日(水)



【募集プログラム】●グランシップ登録アーティスト ミニコンサート ●「人形浄瑠璃 文楽」出前講座 ●狂言ワークショップ ●六代目宝井馬琴監修 講談教室 ●玉川奈々福の浪曲教室 ●貼り絵ワークショップ

お問い合わせ (公財)静岡県文化財団・グランシップ 文化事業課
TEL.054-203-5714 MAIL.info@granship.or.jp